

◇ 編集後記 ◇

オカマキックの話の例で、本文に出てるより正しいのをいま思い出した。

神話時代の日本の、ママトタケルのことである。ママトタケルは天皇の子で、若い時九州のクマソを攻めたことがある。

そのとき、若いママトタケルは、クマソの大將の寝室へ近づいたため女装したようだ。昔の教科書にこの話があった。ママトタケルの武勇伝のように教師は説明した。だが若くは、女装してというのはいかにもオカマキックなことではないか。

×
×
×

オカマとゲイボーイは別口の。ゲイボーイとフルーボーイもまた別だと聞いたが、このへんがどうにもおつかしい。ゲイは風土の嗜好者、どちらも男の性に対して「ホンマカ？」フルーボーイは男の女性化、フルーボーイとはオカマのことなわけだ。(16)

古い友人のS君が亡くなった。本号完成直近のことである。だが、古とアの二人とも、そのために走り回らねばならなくなり、ただでさえ足利でいた今号の発行が更に3日ほど遅れることとなった。

×
×
×
S君は最年長に亡くなった。こ

F君と共に山谷で活動し、その後分かれたが、又前後して冬にやってきて活動していた。F君とは村井的ともいえる性格、理論の持ち主だ。た。いろいろな事がある、その君が差を離したのは一三年前だ、と思う。

それが風の便りに天狗に聞こえ、死因はるだ説明中だが、どうやら拘置所の看守にばた打ちされたか、薬をうたれたせいではないかと思われ。享年33才、働きでかりである。死因を説明しつくした。過悼の辞としたい。(17)

×
×
×
F君は最年長に亡くなった。こ

<13号からの「渡世」販売所>

釜生協 三南公園西、安定所通り、聖手牛乳ラーメンの店

かとう ションベンガード裏へ抜けて右側、新聞雑誌の店

④ 銀座通り、「守い屋」並び、新聞雑誌の店

千石書店 パチンコ「ニョー太郎」東の店街右側

いこい食堂 西成曙ウラのめしや

大阪労演 中の島朝日ビル7階手前

長瀬書店 東京山谷、パレス裏の方、百本といひ馬新聞の店

— うちの店にも置いてあるという方はご連絡ください。

労務者渡世 一四号

定価 一〇〇円

二月二〇日発行

〒労務者渡世編集委員会
大阪市西成区萩原三六一一五
釜生協発行